

2020年度第1回 SSI 学会誌編集委員会議事録

日 時：2020年7月25日（土）13:30～

会 場：オンライン会議（ZOOM ミーティング）

【報告事項】

1. 学会誌発行状況について

和文誌および英文誌の発行状況について、以下の通り報告された。

■和文誌『社会情報学』（毎年3回：6月、12月、3月発行予定）

- ・8巻3号（2020年7月1日発行済）
- ・9巻1号（2020年9月発行予定）
- ・9巻2号（2020年12月発行予定）
- ・9巻3号（2021年3月発行予定）

■英文誌『Journal of Socio-Informatics』（毎年1回：9月発行予定）

- ・Vol. 13（2020年9月発行予定）

2. 査読状況について

和文誌の査読状況について、小寺編集長・嶋崎副編集長より、当日資料「査読状況一覧」の通り報告された。英文誌の査読状況について、土屋編集長・金山副編集長より報告された。

なお、掲載論文数が少ない場合においても、発行スケジュールに沿って発行していくことを確認した。

3. 和文誌『社会情報学』編集長について

決定済の和文誌『社会情報学』編集長について、以下の通り確認された。

■和文誌編集長 / 副編集長一覧

- ・9巻（2020年度）：小寺敦之委員 / 嶋崎真仁委員・松下慶太委員
- ・10巻（2021年度）：嶋崎真仁委員 / 未定・松下慶太委員

4. 和文誌『社会情報学』編集担当責任者について

決定済の和文誌『社会情報学』編集担当責任者について、以下の通り確認された。

■和文誌編集担当責任者一覧

- ・9巻1号（2020年9月発行予定）：佐久間勲委員

- ・ 9 巻 2 号（2020 年 12 月発行予定）：杉山あかし委員
- ・ 9 巻 3 号（2021 年 3 月発行予定）：加藤由樹委員
- ・ 10 巻 1 号（2021 年 6 月発行予定）：加藤尚吾委員

5. 英文誌『Journal of Socio-Informatics』編集長について

決定済の英文誌『Journal of Socio-Informatics』編集長について、以下の通り確認された。

■英文誌編集長 / 副編集長一覧

- ・ 13 巻 1 号（2020 年 9 月発行予定）：土屋祐子委員 / 金山智子委員
- ・ 14 巻 1 号（2021 年 9 月発行予定）：金山智子委員 / 未定

【審議事項】

1. 学会誌編集委員名簿の確認と今後の増員

別紙 1 のように学会誌編集委員の名簿を、任期を超えた委員の退任を含めて、確認した。また、新規の編集委員について、候補者が推薦された。

2. 和文誌編集作業の一部外注化の検討

2020 年度定時社員総会および理事会（2020 年 6 月 6 日開催）の監査報告において、監事の意見として、和文誌の発行スケジュールを安定化させる必要がある旨の指摘を受けた。このことを受け、学会誌編集委員会のもとに「編集作業外注化検討ワーキンググループ」を設置し、学会誌編集作業の一部外注化についての検討を行うこととした。同ワーキンググループの座長は櫻井成一朗副委員長が担当し、別途、委員の依頼を行っていくこととした。

3. 英文誌におけるプレプリント・サーバの扱いについて

英文誌における審査前における投稿論文のプレプリント・サーバでの公開について、本学会では以下のような方針を取ることにした。

- (1) 審査前における投稿論文のプレプリント・サーバでの公開を認めることとする。
- (2) 投稿者は、論文を公開するプレプリント・サーバについて事前に学会誌編集委員会に通知しなければならない。学会誌編集委員会において、通知されたサーバがプレプリント・サーバとして適当かどうかを審議し、適当だと認められた場合のみ投稿論文の公開を認める。なお、過去に承認されたプレプリント・サーバの一覧は、事前に公開しておくこととする。
- (3) プレプリント・サーバで公開する論文は、審査前のバージョンのみとする。学会誌に掲載が決定した正式バージョンを、プレプリント・サーバで公開することはできない。
- (4) 投稿論文が学会誌に掲載が決まり、なおかつ引き続きプレプリント・サーバで論文の公開を継続する場合は、当該論文について、1)審査により学会誌への掲載が決まったこと、2)学会誌に掲載された正式バージョンの書誌情報とリンク、をプレプリント・サー

バ上で付記しなければならない。

- (5) プレプリント・サーバで公開済の論文を再投稿する際には、再投稿時にその旨を学会誌編集委員会に通知しなければならない。

4. 特集論文の位置付けの見直しについて

特集論文の位置付けについて、従来は「査読あり論文」としてきたが、今後は「招待論文」または「依頼論文」（正式な名称については今後検討する）とし、「査読なし論文」として位置づけを変更することとした。

なお、「公募型特集」の実施や「巻頭論文」の依頼など、より多様な形態の論文掲載を進めていくこととした。

5. その他

- ・公募型特集「コロナと情報化（仮）」の実施を検討することとした。

【別紙一覧】

別紙 1 学会誌編集委員名簿

当日資料 査読状況一覧